

令和6年度

日本語ボランティア スキルアップ研修

日本語ボランティアとしてご活躍中のみなさん!今年の12月は、研修に参加してスキルアップしませんか?
この研修では日頃のボランティア活動を振り返り、日本語学習支援について学びます。ぜひご参加ください。

対象

- ・福岡都市圏で日本語ボランティア活動をしている方
 - ・過去に日本語ボランティア活動をしていて、また活動したいと考えている方
 - ・その他地域における日本語ボランティア活動に関心のある方
- ※本研修は、日本語ボランティア経験者を主な対象としています。未経験の方はご相談ください。

受講
無料

日時・会場・定員

	実施日	時間	会場	定員(先着)
第1回	12月6日 (金)	10:00~12:00	福岡市国際会館 4階会議室	30名
第2回	12月14日 (土)	14:00~16:00	アクロス福岡 6階会議室	40名
第3回	12月20日 (金)	13:00~15:00	オンライン (Zoom)	40名

申し込み

申込フォームに必要事項を入力
してお申し込みください。



<https://forms.gle/urI53xpF8s4VXpK69>

◎各回、内容が異なります。3回全ての受講も、1回のみの受講も受け付けます。

第1回 12.6

ANADO ~あなたならどうする?~ 地域日本語教室の"あるある"シュミレーションゲーム

地域日本語教室で起こりうる困難や葛藤などについて、ほかの参加者と意見交換しながら解決の過程を体験するワークショップです。普段なかなか話すチャンスのないほかの教室のボランティアと話しながら、自分が関わっている教室やご自身の活動を振り返ってみませんか。

講師

北九州国際交流協会
地域日本語教育総括コーディネーター
矢野 花織 氏



第2回 12.14

学習者の「わかりにくい日本語」を 「伝わる日本語」に整える技術

日本語学習者が自分の伝えたいことを伝えられるようになるために、日本語ボランティアはどんなかわり方ができるでしょうか。学習者が発する「わかりにくい日本語」に対し、学習者との自然なやりとりの中でどう「伝わる日本語」に整えるか、実際の動画を見ながら考えます。

講師

NPO 多文化共生プロジェクト
代表 深江 新太郎 氏



第3回 12.20

多様化する学習者のニーズに応じた活動を考えるヒント ~「生活 Can do」を使ってみよう~

日本語教室を訪れる学習者が多様化し、ニーズに応えられる教室活動にお悩みではありませんか。「生活 Can do」がそのお悩みの解決のヒントになるかもしれません。「生活 Can do」を知り、教科書に頼らない活動、学習者の社会参加につながる活動を考えてみましょう。

講師

日本語サービス You&I
代表 関崎 友愛 氏



【問い合わせ先】

(公財)福岡よかトピア国際交流財団 多文化共生課

☎ 電話:092-262-1744 ✉ E-mail:nihongo@fcif.or.jp